

# 大型トラックの車輪脱落事故が年々増加！！

— 2018年度は3年前と比べると2倍に —

ユーザー自らタイヤ交換をする時は特に**左後輪に注意**しましょう！  
～新しい大型トラックには新ISO方式の右ねじが採用されています～

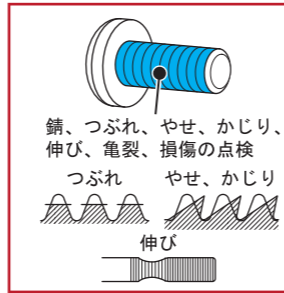
**1 準備** ディスク・ホイールに適合したホイール・ボルトを使用します

**2 点検** ホイールボルトやナットを点検し、必要に応じて交換します  
・ボルトの錆 ・亀裂や損傷 ・ボルトの伸び  
・ねじ部のつぶれ、やせ、かじり等の異状

**3 清掃** ホイール・ボルトのねじ部、ホイール・ナットのねじ部、ディスク・ホイールを清掃します  
・錆、ゴミ、泥、追加塗装等の異物を取り除く

**4 締め付け** トルクレンチを使用して、ホイール・ナットを**規定トルク**で確実に締め付けます

**5 確認** タイヤ交換後、50～100km走行後に**増し締め**を**確実に**行います

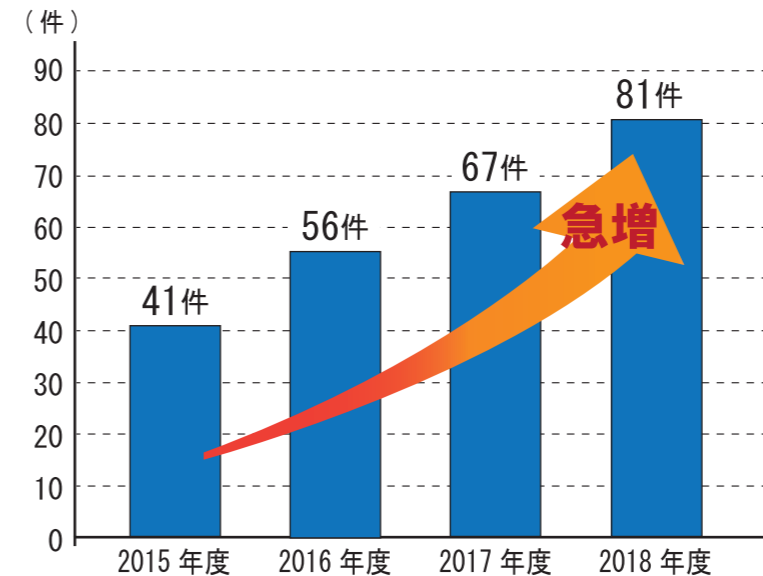


<トルクレンチを用いた増し締め>



※「タイヤ交換時のポイント」が全協ホームページからご覧頂けます。  
[http://www.jta.or.jp/kotsuanzen/anzen/tenken\\_snow\\_dvd.html](http://www.jta.or.jp/kotsuanzen/anzen/tenken_snow_dvd.html)

走行中に大型トラックのタイヤが外れ、歩行者や車両に**衝突すると大惨事**となります。タイヤ交換など、ホイール脱着時は作業手順を間違えないよう、また、**交換後は増し締め**を行きましょう！



▲車輪脱落事故を起こしたタイヤ  
(出典：国土交通省 自動車点検・整備「車輪脱落事故」)

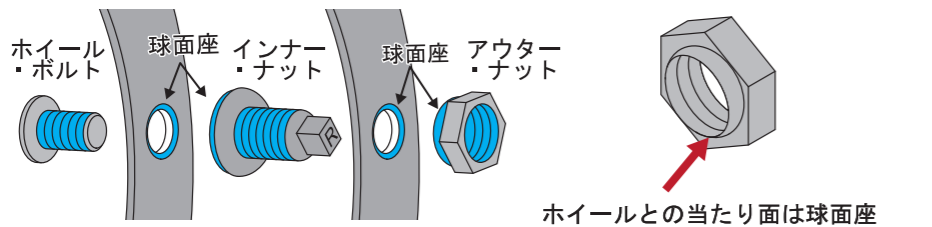
※統計データは、「自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告」(国土交通省提供)による。以下、同じ。  
※大型トラック：車両総重量8トン以上。

## ホイール・ボルト、ホイール・ナットの種類

ホイール・ボルト、ホイール・ナットの締め付け方式には、**球面座で締め付けるJIS方式**と、**平面座で締め付けるISO方式**があります。また、ディスク・ホイールには「**スチール**」と「**アルミ**」があります。交換する場合は、同じ規格の部品と交換してください。

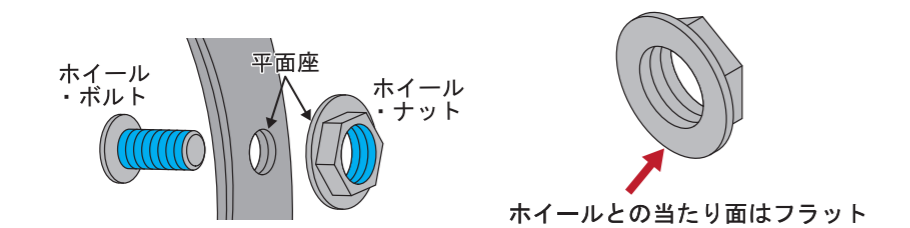
### ●ホイール・ボルト、ホイール・ナットの違い

#### JIS方式(球面座)



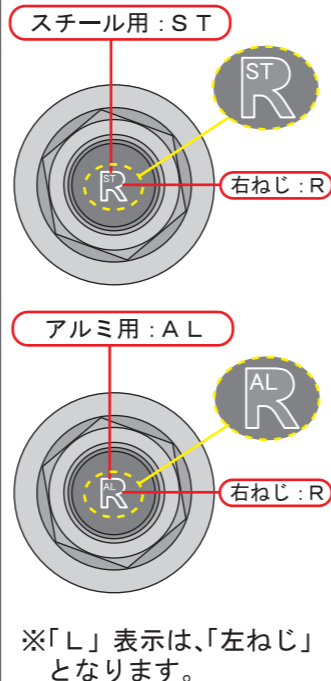
【ねじの方向】 JIS方式⇒右輪：右ねじ 左輪：左ねじ

#### ISO方式/新・ISO方式(平面座)



【ねじの方向】 ISO方式⇒右輪：右ねじ 左輪：左ねじ  
新ISO方式⇒左右輪：右ねじ

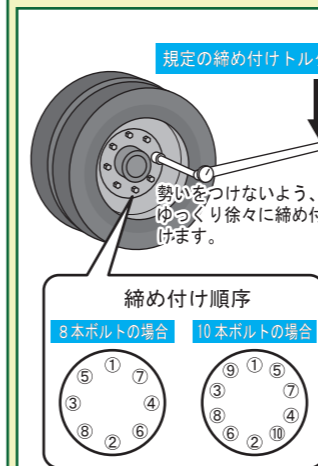
### ホイール・ボルトの識別表示



## 車輪脱落を防ぐ4つのポイント

### 確実な締め付け

締め付け方式には、球面座で締め付けるJIS方式と、平面座で締め付けるISO方式があります。規定の締め付けトルクで確実に締め付けます。



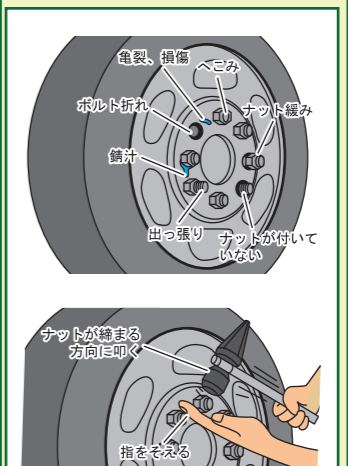
### 増し締めの実施

締め付け後は初期なじみによってホイール・ナットの締め付け力が低下します。50～100km走行後を目安に増し締めを行います。



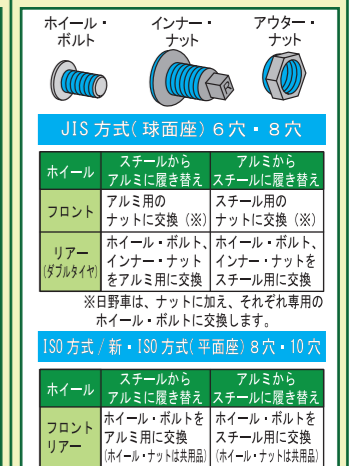
### 日常の点検

一日一回、運行の前に、ホイール・ボルト、ナットを目で見て、さわって点検します。異常を発見したら直ぐに整備工場へ。

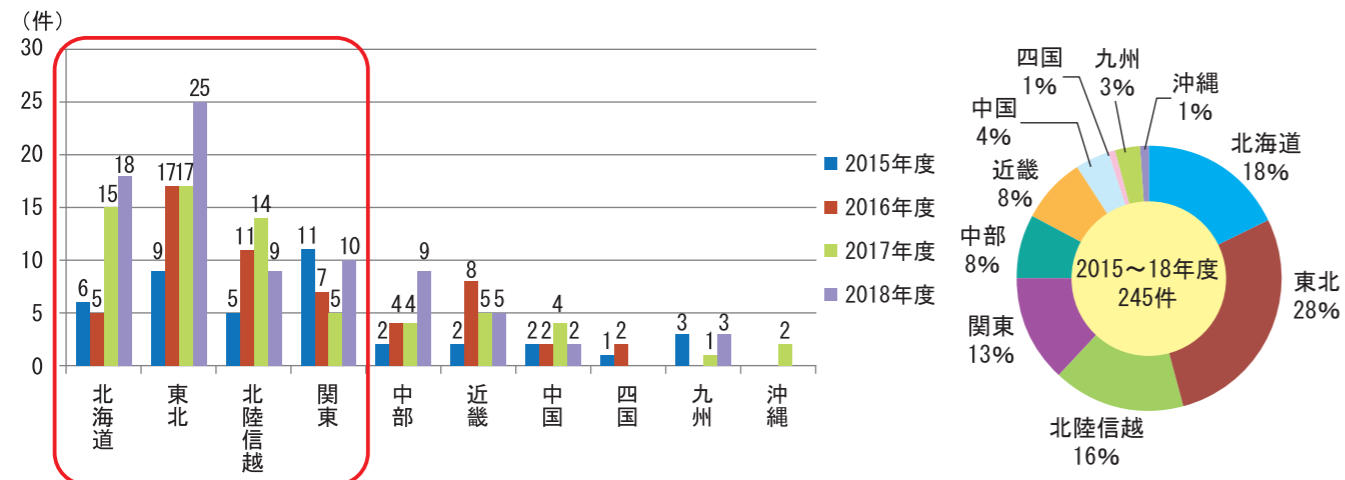


### ホイールの履き替え

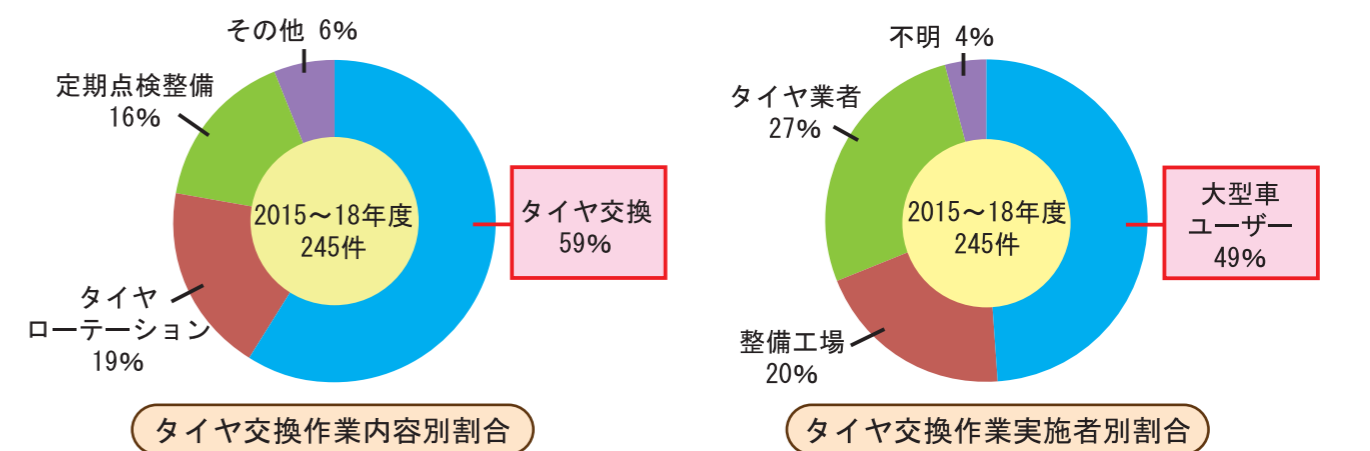
スチールホイール、アルミホイールの履き替えには、それぞれ適合するホイール・ボルト、ナットの使用が必要です。必ず確認してください。



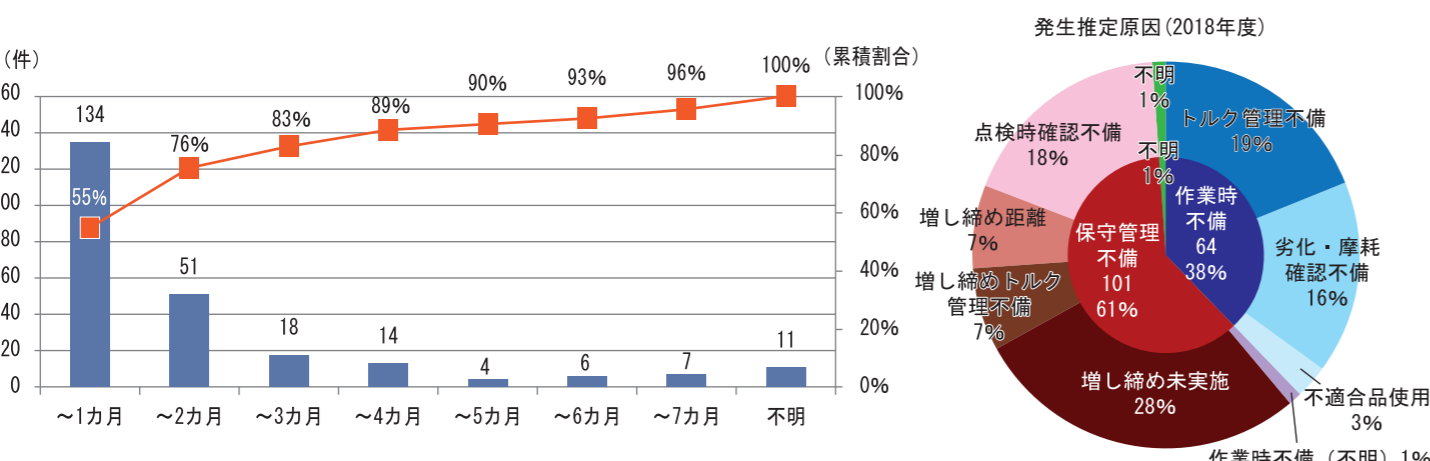
**車輪脱落事故を地域（車籍）別にみると、東日本地区の大型トラックに多く発生しています！**



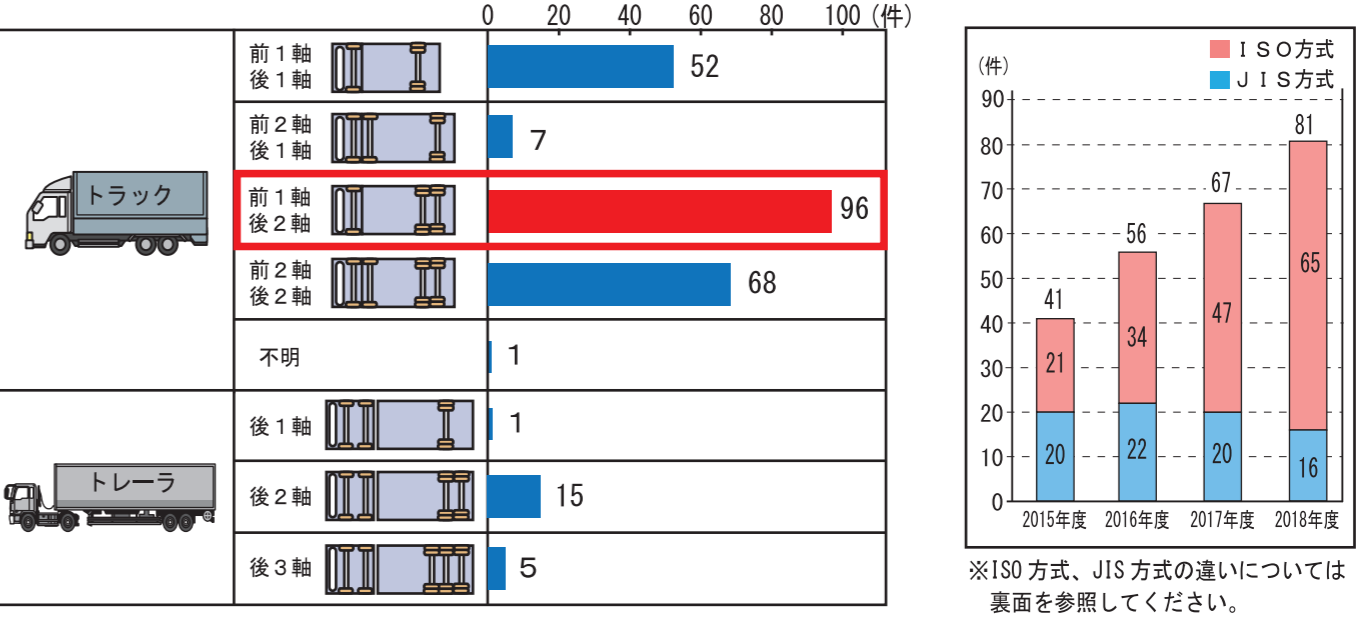
**車輪脱落事故はタイヤ交換によるものが約6割。タイヤ交換作業などの半数は大型車ユーザー自らによるものです！**



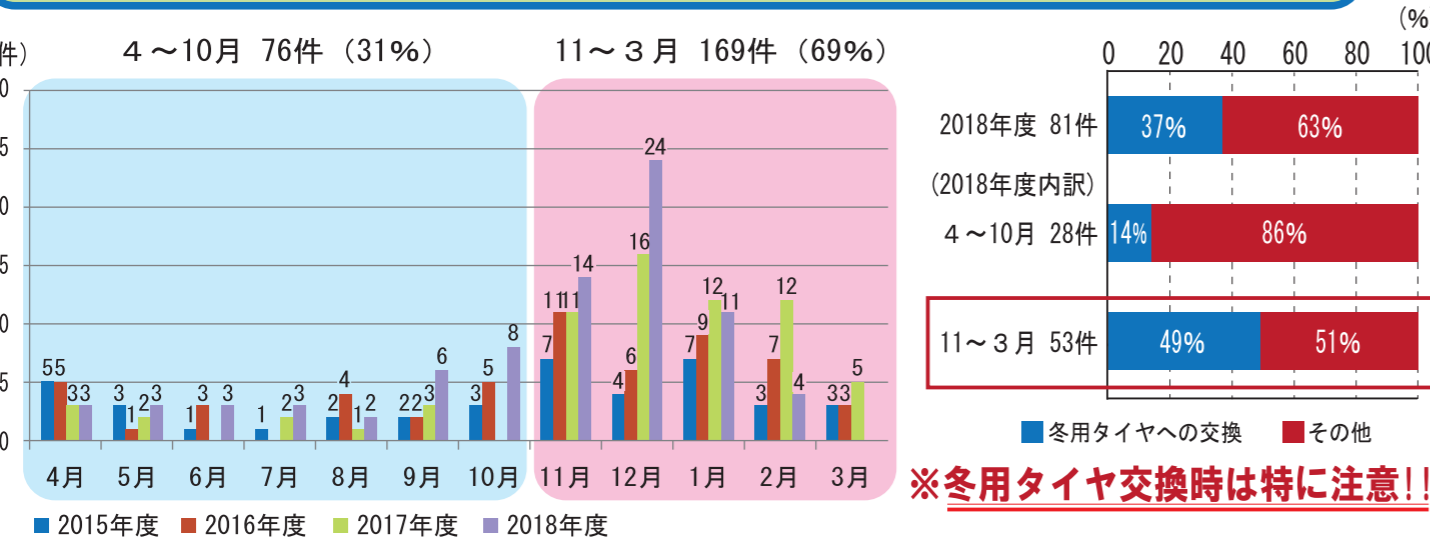
**タイヤ交換から2か月以内に約8割が脱落しています。特に、増し締め未実施が原因と思われるものが約3割となっています！**



**車種別でみると、3軸トラックの後輪2軸車が約4割と多く発生しています。また、ISO方式で多く発生しています！**



**車輪脱落事故は11月から3月が約7割。この時期には取付状態の点検を徹底しましょう！**



**脱落するタイヤは、左側後軸が全体の9割近く、また、左側の車輪の右ねじのナットが6割強と多く発生しています！**

